



2017年
6月27日

火曜日

《埼玉・首都圏経済面》

めぶきFGファンドから ひびき、1億円調達 出店費などに活用

円の出資を受けた。新規店舗の出店のほか、従業員の雇用改善に活用するという。

同ファンドによる出資は5件目で、埼玉県内では初めて。東松山名物の焼きとんなど県内食材の活用による地域の魅力発信が評価された。

やきとりチェーン運営のひびき(埼玉県川越市)は26日、常陽銀行と足利銀行を傘下に置くめぶきフィナンシャルグループが設立した「めぶき地域創生ファンド」から1億20億円から40億円に増額した。

同ファンドは2016年11月に損害保険ジャパ・ン日本興亜と共同で、食などを通じて地域振興に貢献している企業支援を目的に設立した。6月にはファンド総額を従来の20億円から40億円に増額した。

許諾番号 30056473 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。
日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。